MAXIMIZING POTENTIAL / 2026.11

ブランドガイド

マキシマイジング・ポテンシャル

Maximizing Potential



日本語ブランドキット

ロゴ、ことば、デジタル、印刷物。
ブランドを一貫して使うためのガイド。

制作版 v2 ・ 文案とイベント情報は公開前に確認

ブランドを、一貫して使う。

受け継ぐアイデンティティ

通常版は紺の六角形、白いM、金の矢印。
濃い背景では、明るい六角形の反転版を使います。
どちらも既存の形状・比率を保ちます。

マキシマイジング・ポテンシャル
Maximizing Potential

ことばと使い方

日本語の表示名、読みやすい書体、自然な紹介文、会場の案内表示。承認済みの色とエンブレムを使い、日本語の使いやすさを整えます。

確定している表記

マキシマイジング・ポテンシャル
正式な英語名：Maximizing Potential

このガイドのスローガンと紹介文は提案です。
公開前の日本語確認は Dillon James が担当します。

名前は、そのまま正確に。

マキシマイジング・ポテンシャル

Maximizing Potential

初めて紹介するとき

マキシマイジング・ポテンシャル
（Maximizing Potential）
紹介文や協力依頼の冒頭では、英語名を併記します。

正式な書類では

正式な英語名 Maximizing Potential を使います。日本語名は表示名として併記し、日本法人や日本支部の設立を意味する呼称は使いません。

文字の扱い

「マキシマイジング・ポテンシャル」の中点を含め、表記をそのまま使います。
狭い場所では文字を極端に縮めず、縦組みの口ゴに切り替えます。

背景に合わせて、選ぶ。





明るい背景は通常版、濃い背景は反転版エンブレムを使います。
各版の形状と色は変えません。写真の上では、無地の余白を確保します。

ロゴの周りに、余白を。

X



X ＝ エンブレム幅の 1/4。
上下左右に少なくとも X の余白を取ります。
装飾、文字、写真の境界をこの領域に入れません。

避ける使い方

縦横比の変更・回転・色の置き換え
影や輪郭線の追加・要素の並べ替え
スローガンをコアロゴに組み込むこと

縮小したときに英語名や細部が読めなければ、エンブレム単体を使うか、表示面積を広げます。

紺とアイボリーを、土台に。

ネイビー
#08182C

アイボリー
#F7F3EA

アンティークゴールド
#B08A3C

シェブロンゴールド
#E7B751

ディープゴールド
#7B5A1A

ホワイト
#FFFFFF

金はアクセントに。明るい背景の小さい文字には #7B5A1A、
紺の背景の強調には #E7B751 を使います。#B08A3C は細い区切り線や装飾に。

CSS / JSON / ASE / GPL のカラーファイルを同梱

読みやすさを、第一に。

あたらしい一歩を、いっしょに。

ヒラギノ角ゴシック ProN W6 / 見出し

初めての人にも伝わる、やさしく具体的なことば。
一文を短く、必要な情報から順番に。

ヒラギノ角ゴシック ProN W3 / 本文

書体と行間

日本語：ヒラギノ角ゴシック ProN W3 / W6
英数字：Avenir Next
本文の行間は文字サイズの約1.6〜1.8倍。

共有・入稿のために

通常版 SVG は文字をアウトライン化済みです。
編集用 SVG と Office 文書は、書体環境によって
見え方が変わります。変更後に表示を確認。
フォント本体は同梱していません。

親しみやすく、具体的に。

一人ひとりの可能性を、社会の力に。

キャンペーンコピー第一候補 / 未承認の提案

紹介文の候補

学び、つくり、挑戦する機会を広げ、一人ひとりの可能性が地域や社会に役立つきっかけをつくります。

伝え方の基準

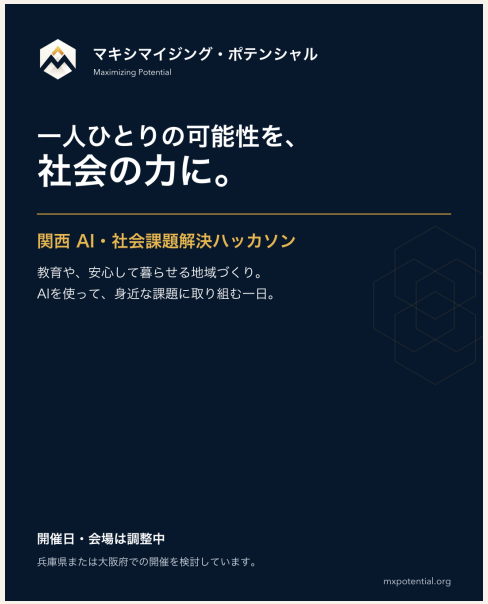
「です・ます」を基本に、専門用語を説明します。
大きな成果を約束せず、学びや試作の機会を伝えます。

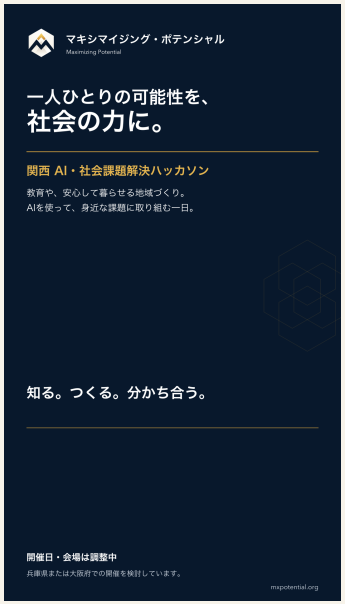
案内の例

日程と会場は調整中です。
決まり次第ご案内します。
操作でお困りの方は、スタッフにお声がけください。

画面に合わせて、伝える。







正方形 1080 × 1080
縦長 1080 × 1350
ストーリー 1080 × 1920

SNS の本文にも重要な情報を書きます。
QR や申込リンクは、公開先を確認してから追加。
日程・会場が未定の素材は「調整中」を残します。

地域の課題を、丁寧に伝える。

教育

学びの機会を広げる
学ぶ人や教える人の声を手がかりに、学びやすさや学習の選択肢を広げるアイデアを考えます。

安心して電車を利用するために

電車内の痴漢・性的嫌がらせの防止と被害者支援
被害を受けた方の意思とプライバシーを尊重し、予防や相談先につながる方法を考えます。

第3のテーマ

第3のテーマは検討中です。
地域の方々の声を聞きながら、
決めていく予定です。

写真・デモの扱い

撮影や掲載の同意を確認し、参加者の選択を尊重します。被害経験の共有を求めず、デモには架空の情報など適切なデータを使います。

イベント名・テーマの日本語表現は Dillon の確認後に使用

会場でも、ひと目で伝わる。

マキシマイジング・ポテンシャル
Maximizing Potential

受付

こちら

マキシマイジング・ポテンシャル





マキシマイジング・ポテンシャル
Maximizing Potential

Dillon James

日本での連携窓口・イベント責任者

maximizing.potential.admin@gmail.com

mxpotential.org

案内は短く、大きく。
文字と矢印を主役にして、必要な場所に配置します。

表彰の瞬間も、同じブランドで。

マキシマイジング・ポテンシャル
Maximizing Potential

校正用・金額未確定

賞金贈呈

［賞の名称］

受賞チーム

¥

［金額を確定後に入力］

開催日：［　　］

記念撮影用。金銭の支払いや換金には使用できません。

大型贈呈ボード：仕上がり 1,100 × 550 mm（仕様案）

制作から、現場へ。

同梱ファイルの使い分け

PNG：すぐに使うデジタル画像
SVG：アウトライン化済みの拡大可能な画像
.editable.svg：文言や配置を編集する元データ
PDF：印刷用レイアウト・ブランドガイド
PPTX / DOCX：プレゼン・レターヘッド・証書

印刷前の確認

印刷 PDF は仕上がり寸法と 3 mm の塗り足しを設定しています。RGB のデザイン原稿のため、色や用紙は発注先の校正で確認します。

バナーの巻き込み・ステッカーの抜き型・
大型ボードの素材は、発注先のテンプレートに
合わせて調整します。

公開前の確認

名前・リンク・開催日・会場・金額を確認。
協賛名やロゴは、書面の確認と使用許可を得てから追加。
日本語の最終確認：Dillon James。

お問い合わせ

マキシマイジング・ポテンシャル

Maximizing Potential

Dillon James

イベント責任者・日本での連携窓口

maximizing.potential.admin@gmail.com

mxpotential.org

マキシマイジング・ポテンシャル / Maximizing Potential